

*下山武士氏略歴

下山武士氏は昭和二十一年早稲田大学商学部在学中、すでに財団法人学生食堂連合会理事をつとめており、終戦直後の学生生活安定化を図るため早稲田大学学生共済会の設立及び運営にも参画、全国組織の確立に力を尽くし、同二十二年早稲田卒業後は財団法人学生食堂連合会の運営に当たり学生食堂に対する食糧確保に尽力、さらに、食糧事情の緩和に呼応し、学生食堂のみでなく、官庁、会社及び工場などの職域食堂を含めた集団給食の総合経営を全国規模で行い、国民の食生活の合理化に大きな役割を果たした。“飽食の時代”にあつては幼児から小、中、高、大、社会人の全過程の集団給食を通じ国民の健康を守り、より豊かな楽しい食生活の実現を目指し奮闘しておりました。さきの昭和六十年秋の国家褒章では藍綬褒章を受章しました。なお昭和五十九年には学校給食功労者として文部大臣表彰を受賞しています。趣味は読書、旅行、座右の銘は誠実奉仕、そして氏の経営理念は国民の健康を守り、より豊かな楽しい食生活の実現を図ることである。

*下山武士氏年表

下山 武士氏 経歴

昭和二十一年 早稲田大学学生共済会を設立、監事に就任（昭和二十二年まで）

財団法人学生食堂連合会理事就任

東京荏原大口消費組合常務理事に就任

昭和二十二年 早稲田大学商学部卒業

昭和二十三年 財団法人学生食堂連合会常務理事に就任

昭和二十五年 財団法人学校福祉協会理事長代理に就任

昭和三十二年 服部栄養専門学校講師に就任（昭和四十九年まで）

昭和三十四年 東京集団給食技術学校設立、校長に就任

昭和三十七年 荏原青果市場信用組合監事に就任

昭和四十七年 株式会社東京集団給食技術研究所を設立、代表取締役社長に就任

昭和四十九年 東京成徳短期大学附属中・高等学校PTA会長に就任（昭和五十四年まで）

昭和五十四年 東京成徳短期大学後援会会長に就任（昭和五十六年まで）

財団法人河野臨床医学研究所後援会理事に就任

昭和五十五年 財団法人河野臨床医学研究所附属北品川病院友の会会長に就任

昭和五十六年 文部省保健体育審議会委員に就任

学校法人服部学園監事に就任（昭和五十八年まで）

東京成徳短期大学後援会顧問に就任

関東地方中小企業生産性労使会議サービス部部会議長に就任

任意団体日本一輪車協会 監事に就任

昭和五十七年 財団法人学校福祉協会理事長に就任